

講義名	日本語総合A			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時間	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学や普段の生活の中で必要な日本語能力を身につけることを目的とする。
授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学び、実際に日本語でのコミュニケーションや作文で使えるようにすることを目指す。

到達目標

授業で扱った文法項目の理解だけでなく、運用能力を身につけ、大学での学習や日常生活でのコミュニケーションに対応できるようにする。

提出課題

課題（ワークシート、宿題等）については授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削し、各学生にフィードバックする。また、間違いが多かった問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業中の課題達成度（30%）、小テスト等（20%）、中間の理解度確認（25%）、期末の理解度確認（25%）
毎回、小テストを行う
全授業回数の1/3以上欠席した場合は、成績評価の対象から外す。

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回の授業で出席をとる。
- ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。
- ・授業中のスマホ等の不必要な使用は慎むこと。
- ・積極的な授業参加を望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料等は必要に応じて配布する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）、レベルチェックテスト
予習内容：印象に残るような自己紹介を考えておくこと（60分）
復習内容：学習した項目について整理・復習し、学んだことを授業外で実践すること。また、次週の小テストに向けて準備をすること（180分）
- 第2回 期待を表す表現、結果を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第3回 並列表現や譲歩を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第4回 進行を表す表現や抵抗を示す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第5回 不可能を表す表現や根拠を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第6回 動議表現や対比を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第7回 不応を表す表現や時を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第8回 中間理解度確認
予習内容：第1回～第7回の授業内容を復習し、「中間理解度確認」に向けて準備しておくこと（240分）
第9回 開始を表す表現や基準を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第10回 根拠を表す表現、感情を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第11回 様子・状態を表す表現や決定を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第12回 予想外を表す表現や程度を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第13回 範囲を表す表現や逆接表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第14回 否定表現や例を表す表現など
予習内容：事前に配布する資料を読み、分からない語句の読み方や意味を調べておくこと（90分）
復習内容：学習した項目を整理・復習し、文作成や発話練習などを行うこと。また、次週の小テストに向けて準備をすること（150分）
- 第15回 期末理解度確認
予習内容：第9回～第14回の授業内容を復習し、「期末理解度確認」に向けて準備しておくこと（240分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A～L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

日本語能力を向上させることで、自ら必要な情報を収集し、そこから得た知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考